

「しおかぜ」だより

No. 125 平成30年12月号



寒さが一段と厳しくなってきましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

12月22日には、冬至を迎えます。ご存知の通り一年の中で最も昼が短く、夜の長さが長くなる日です。冬至といえば、かぼちゃを食べることが風習となっていますが、冬至の日にゆず湯に入ると風邪をひかないなどとも言われています。かぼちゃを食べた後、ゆず湯に浸かりリラックスするのもいいのではないのでしょうか。

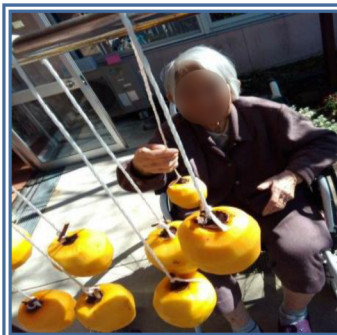
また、「ん」の字が2つつく食べ物を7種類食べると良いという言い伝えがあるそうです。南瓜（なんきん） 蓮根（れんこん） 人参（にんじん） 銀杏（ぎんなん） 金柑（きんかん） 寒天（かんてん） 饅頭（うndon）＝うどん この7種類を食べると幸運に恵まれるそうですよ♪

空気の乾燥した季節になりました。風邪などお召しになりませぬよう、ご注意ください。

今年一年も大変お世話になりました。来年も幸多き一年になりますよう、お祈り申し上げます。



風グループでは干し柿作りをしました！



月グループでは花の寄せ植えやハンドマッサージを！

看護師からの一言

花グループではみんなの手形で作品を作りました！



朝・夕の冷え込みもいよいよ冬の到来を思わせる季節になりました。入所者の方は皆さんインフルエンザワクチン接種を無事終了しています。職員も体調を崩さない様、充分に気をつけています。御家族の皆様も充分にお気をつけ下さい。又、ワクチン未接種の方は早目にワクチン接種をお受けください。

